



大江の風

7月7日
No.50

タブレットの点検をします

タブレットは正しく大切に使いましょう。



タブレットは、学校での授業や家庭学習のさらなる充実に向けて、子どもたちみんなのために熊本市から貸し出されたものです。貸し出されたとはいえ、子どもたちにとっては自分のiPadが来た！と、自分のもののように使う人もいます。今一度「大江小タブレット使い方のきまり(児童用)(保護者用)」「iPadの利用についての同意書」をご覧ください。(ホームページに掲載)きまりにも書いておりますように、学習の道具として正しく使用してほしいと思います。

きまりには、○授業や課題、自主学習に関係ない写真や動画は記録しません。○設定は勝手にかえないようにします。などがあります。お家の方も「履歴」「ロイロノート」「写真」「ボイスメモ」など、子どもさんのタブレットの中をどうぞみてください。違法・不適切なサイトの閲覧や学習以外の目的での不適切な使用については、個人的に指導します。学習以外のものは、すべて削除します。学習のための道具、そして借りものであることを、今一度子どもたちには確認させたいと思います。

夏休みも、課題を追求したり自由研究をしたり、大いにタブレットは使ってほしいと思います。がしかし、学習以外では使用できません。夏休み前に、もう一度子どもたちにはタブレット使用のきまりを、各学年に応じて指導します。今週から全学年、タブレットの点検をします。期日は各学年違いますが、点検期間中は自宅には持ってかえりません。また通信量が多い場合、学校から本人、保護者に連絡し確認する場合があります。お家でも、使いすぎて寝る時間が短くならないよう、どうぞよろしく願います。

学校評議員会がありました

昨日学校評議員会を開催しました。熊本市では、学校評議員の方々を通じて、学校外から広く意見を伺い、保護者や地域住民等の意見を把握し、連携・協力して、学校の運営や教育活動を行っています。本年度は右の方々に評議員になっていただきました。評議員の皆様は、令和3年度の学校経営について説明し、そして授業参観をしていただきました。子どもたちは、「前の校長先生だ～」「校長先生が二人いる！」とか「いつも横断歩道に立ってくださっているおじちゃんだ～」などなど、授業中でしたが、とてもうれしそうにつぶやいていました。ちょうど3年生も外国語活動、6年生が英語の授業をしていました。評議員の皆さんは、先生と子どもたちの英語のやりとりをじっくりされていました。子どもたちも先生方も上手に英語で会話している姿に感動されていました。私も感動しました。そして、「今の先生方は、英語も教えなきゃいけないので大変ですね」と言われました。全クラスの参観が終わって、ご意見をいただきました。学校教育目標である「どうにかする力」を家庭にも、地域にも広めてほしいとご意見をいただきました。本年は「生きる力＝どうにかする力」の集大成。「どうにかする力」をつけて、子どもたちが、予測できない変化に、受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して自らの可能性を發揮し、よりより社会と幸福な人生の作り手となってほしいと願います。

令和3年度学校評議員の皆さま

- 井澤美紀様(主任児童委員)
- 鶴 芳則様(元父母と教師の会副会長)
- 永光英俊様(前大江小校長)
- 一木和彦様(2町内自治会長)
- 樋口久幸様(大江6郵便局長)



ちょうど6年生が廊下でパフォーマンステストをしていました。この4人の男の子たちは、堂々と流暢な英語で答えていました。評議員さんたちと感心して聞いていました。



評議員さんたちは暑い中熱心に参観してくださりました。